

Ponleum PRO 各種テストデータ

メンテナンス

- 床材を美しく保つためには、定期的な清掃と、汚れを防止するためにワックスを塗布してください。
- 汚れのひどい時には、クリーナーを用いて拭き取り、更に綺麗なモップ等で水拭きをしてください。
- ふだんのお手入れは、よく絞ったモップか雑巾での水拭きで充分です。
- 外から持ち込まれる砂等は、床材の表面に傷をつけます。出入口等のできるだけ大きなマット類を置いて砂等が持ち込まれないように配慮してください。
- 直射日光が当たる床面は気付かぬうちに少しずつ退色することがあります。カーテン・ブラインドなどで日除けなどの工夫をしてください。

テストデータ

床材性能一覧表

●数値は測定値で保証値ではありません。●下記試験方法は、JIS A 1454に準拠。

製品の種類	規格厚さ	記号	へこみ量		加熱による長さの変化率	加熱減量	残留へこみ率	防滑性※ C.S.R.値		摩耗性(厚さ減少量)		退色性
			20℃	45℃				清掃	水+ダスト	500回	1000回	
タイプ	mm		mm	mm	%	%	%			mm	mm	級
MF	2.00	NC	0.60	0.82	0.04	0.49	7.60	0.82	0.57	0.04	0.08	5
FF	2.00	NC	0.73	1.05	0.30	0.15	9.12	0.85	0.55	0.05	0.10	5
FR	2.80	DO	1.42	-	0.07	0.64	11.00	0.84	0.51	0.06	0.13	5
CFR	2.80	DO	1.42	-	0.07	0.60	12.00	0.84	0.52	0.06	0.13	5
NE	2.00	NC	0.71	1.11	0.40	0.40	5.00	0.86	0.52	0.05	0.11	5
CP	2.00	NC	0.75	1.07	0.48	0.19	6.65	0.88	0.52	0.05	0.11	5
VA	2.00	NC	0.79	1.06	0.26	0.10	6.88	0.89	0.51	0.03	0.08	5
FW	2.00	NC	0.73	1.05	0.30	0.15	9.12	0.85	0.55	0.05	0.10	5
FP	2.00	NC	0.78	1.02	0.27	0.29	9.59	0.89	0.52	0.05	0.11	5
FPV	2.50	NC	0.85	1.13	0.42	0.24	4.30	0.87	0.52	0.05	0.11	5
FM	2.00	NC	0.76	0.98	0.29	0.28	9.47	0.89	0.52	0.05	0.11	5
FMV	2.50	NC	0.80	1.14	0.43	0.19	3.80	0.89	0.52	0.05	0.11	5
NNP800	2.50	NC	0.88	1.24	0.33	0.19	10.12	0.81	0.67	0.06	0.15	5
NNP600	2.50	NC	1.15	1.48	0.35	0.13	7.59	0.87	0.68	0.05	0.09	5
SXG	2.30	PF	0.91	-	0.13	0.56	5.59	0.83	0.52	0.03	0.06	5
S	2.30	PF	1.24	-	0.11	0.60	4.00	0.96	0.53	0.03	0.06	5

副資材適応床材一覧

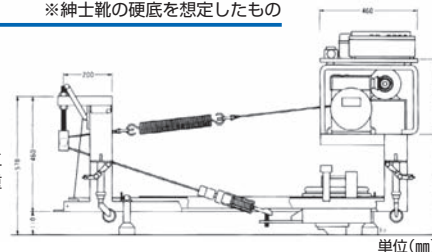
床材	種類	継ぎ目処理剤		溶接仕上		継ぎ目・端処理
		品名	瞬間接着剤	溶接棒	エフシール	
MF	シームシーラー PO-50M	○	○	○	○	
FF	瞬間接着剤 HL-88	○	○	○	○	
FR	溶接棒	○	○	○	○	
CFR	エフシール	○	○	○	○	
NE				○	○	
CP		○	○	○	○	
VA		○	○	○	○	
FW		○	○	○	○	
FP/FPV		○	○	○	○	
FM/FMV		○	○	○	○	
NNP800		○	○	○	○	
NNP600		○	○	○	○	
SXG		○				
S		○				

防滑性能

床の滑りは、歩行感に大きく影響を与えます。滑りすぎでは危険ですし、適度な滑りがなければまた逆につかかり危険であると共に歩行者に疲れを与えます。そこで、床には歩行しやすさと適度な滑りが必要となってくるわけです。そうしたバランスの取れた床材がすぐれた床材といえるのではないのでしょうか。

《OY-PULL試験》床材の防滑性の評価で実状とよく合致するとされている試験として、東京工業大学小野研究室の開発した滑り試験機OY-PULL法があります。この方法は、水平面に一定荷重(80kg)をかけた滑り片を、18度の角度で80kg/秒の力で引っ張った時の静止摩擦係数を測定します。評価はC.S.R.値が大きいほど滑りにくいとされています。 ●床性能研究会・代表 工学博士 小野英哲

※紳士靴の硬底を想定したもの



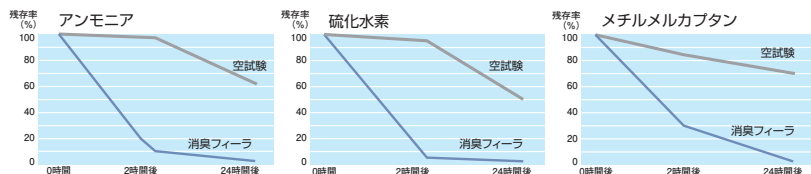
消臭性能

CFRの消臭性能評価

- 試験方法
1. サンプルを半分折り曲げ端をアルミテープでシールし、消臭試験サンプルとした。
 2. サンプル1枚をテドラバックに入れ、空気1リットルを注入した。
 3. 試験ガスを所定量注入した。
 4. 2時間、24時間後残存ガス濃度を測定した。
 5. サンプルを用いず同様の評価を行い空試験とした。
- 数値は測定値で保証値ではありません。

[CFRの消臭機能について]

CFRの消臭機能は悪臭を効果的に抑制するためのものであり、発生源を取り除くものではありません。使用環境によっては効果に影響をおよぼす可能性があります。



耐汚染性能

この床材の性能は、JIS A 1454において規定されるものと一般生活上で使用されているものが中心となります。染料等が含まれるものについては、床にこぼれた時にすばやく拭き取れば着色や変色を防げることが少なくありません。上手な使い方によって、床をきれいに長持ちさせることが出来るのです。

●試験方法

試験片の表面に試薬(汚染物質)を2ml滴下し、時計皿をかぶせて24時間静置した後、適量中性洗剤を含む水で洗い、さらにアルコールで洗う。試験片の表面を乾燥したガーゼで拭き取ってから1時間静置した後、目視によって滴下部分の色、光沢の変化及び膨れを観察する。

JIS A 1454規定の汚染物質

汚染物質	色の变化	光沢の変化	材質の膨れ
大豆油	○	○	○
潤滑油	○	○	○
95%エチルアルコール	○	○	○
2%かせいソーダ水溶液	○	○	○
5%酢酸	○	○	○
5%塩酸	○	○	○
セメントペースト	○	○	○

評価 ○: 変化なし △: わずかな変化 ×: 大きな変化

●試験方法

試験片の表面に直径10mmの円形になるように試薬(汚染物質)を滴下、又は2ml滴下させた後、時計皿をかぶせて24時間静置する。その後、1)乾いたガーゼで拭き取り、2)適量中性洗剤を含む水を濡したガーゼで拭き取り、さらに3)アルコールを含んだガーゼにより試験片の表面を拭き取ってそれぞれの処置後、目視によって滴下部分の色、光沢の変化及び膨れを観察し評価する。

その他の物質

汚染物質	色の变化	光沢の変化	材質の膨れ
コーヒー・紅茶・コーラ	○	○	○
ソース・マヨネーズ	○	○	○
口紅・マニキュア・ヘアトニック	○	○	○
クレヨン・墨汁	○	○	○
ボールペン	△	○	○
マジックインキ・毛染め液・靴墨	×	○	○
10%アンモニア水溶液	○	○	○
5%石炭酸水溶液	○	○	○
牛乳	○	○	○
醤油	○	○	○

評価 ○: 変化なし △: わずかな変化 ×: 大きな変化